

憲法を行政に生かす大阪の会ニュース

発行「憲法を行政に生かす大阪の会」 発行責任者：長谷川道弘 TEL06-6942-4069
〒540-0023 大阪市中央区北新町4-5 第2太田ビル3F 国家公務員労働組合大阪地区連合会気付

2009.1.15 NO.44



「おい地獄さ行(え)ぐんだで！」
「蟹工船」時代の再来を許すな



映画「蟹工船」ポスターから

働く者が報われる世の中に

昨年末の十二月二三日(火・休)、映画館「高槻口コロシアム」が「蟹工船」の上映を行うとの情報を得て、会では映画「蟹工船を見る会」を行いました。午後二時からの上映に六名が参加しました。

「おい地獄さ行(え)ぐんだで！」で始まる小説「蟹工船」を小林多喜二が書いたのは一九二九昭和

四年、この映画は一九五九(昭和三四)年の製作。

全国革新懇ニュース 当会の記事も掲載

十二月一月合併号には俳優の菅原文太さん左の写真が登場しています。後期高齢者医療制度に「腹が立つ」、憲法について「戦争放棄の九条は守るべきだ」と発言し共感を広げています。またこの号では当会の紹介記事が総会報告とともに掲載されています。

茶店で感想を述べあいました。みなさん口をそろえて、「資本家が働く者をほろくずすのよう」に扱つのは今と同じ」といった共感が広がっているといつのが、映画を見てよくわかつたということでした。

かつてなくマスコミが年末年始「派遣村」の報道をしましたが、株主への配当は増やしても労働者を使い捨てする大企業とそれを放置する政治、あと追いの行政に、「蟹工船」時代の再来を許さない、そんな社会を一刻も早く実現させなければならぬ」と決意を新たにしました。(T・H)

ダブルランチ

お正月の戯れ歌も3年続くとおきられようが、性懲りもなくいつてみる。「変なねずみの後に丑」と題して、お目々汚しを。

(へ)変化とは この春オバマが 出してくる

(ん)運じゃない 規制緩和の あのヤロー (な) 何も言えねえ メダルで語る 康介だ

(ね)ねぐらあり 「蟹工船」に 手を合わせ (ず)ずっこいなあ 株主配当 派遣切り

(み)みぞゆつの 経済危機だと 選挙逃げ (の)NO MORE WAR ASEAN憲章 発効す

(あ)アメリカを 抜いても進む 世界かな (と)飛ぶ靴に 歓声上げる 記者会見

(に)逃げ惑う 秋葉に電撃 刺客飛ぶ (う)丑年へ 人の情けの 派遣村

(し)資本主義 終焉早める カジノかな (BYに)

革新懇運動への期待広がる

二月三日 第8回総会開く

「憲法を行政に生かす大阪の会」は、二月三日(水)、第八回総会を、七〇名の参加で開催しました。

第一部は全国革新懇代表世話人の鰺坂真先生を講師に、「世界と日本の今と未来」と題して記念講演、第一部の総会議事では、事務局の報告・提案、討論、方針とアピール確認を行いました。

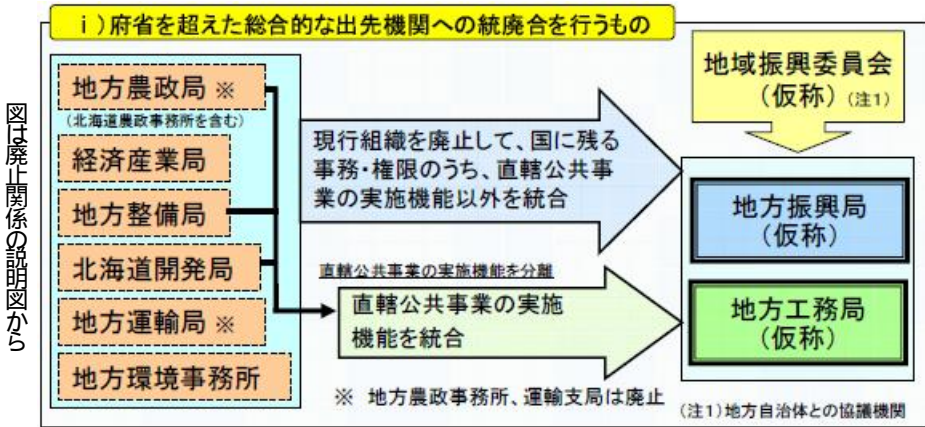
討論では、単位職場からの報告が行われ、とくに運輸関係では、退職者中心に会員拡大が急速に進んでおり、「あの人が入った？」と革新懇運動への驚くような期待が広がっていることが報告されました。

建設職場からは、流域委員会無視のダム強行策や道路特定財源問題、農林職場からは事故米問題、財務職場からはパワハラ官僚問題などが報告され、国民本位の行政めざし一生懸命働きたいのに、「構造改革」路線のもとでますます逆行する実態や責任を公務員個人や出先機関に押しつけることへの憤りが今にも爆発しそうな状況であることが報告されました。



【2009年度】世話人会
【代表世話人】 佐保庚生(元農林)、田中喜雅(元建設)、長谷川道弘(国公/元運輸)、馬場忠雄(元法務)、松元公子(元経済/通産)、山瀬徳行(元労働/基準)
【世話人】 池長秀吉(元司法)、伊藤邦夫(元財務)、大槻眞一(元経済/大工試)、河内満維(元国税)、北谷信也(元運輸)、中井士朗(元国税)、西愛彦(元税関)、橋本啓修(元厚生)、平野忠志(元建設)、矢野林子(元経済/通産)、山下寿子(元国税)、山岨光男(元経済/通産)

新年度の方針では、革新三目標の実現、新しい単位職場組織の



図は廃止関係の説明図から

「平和と人権を考えるつどい」ひろく おおさか国公九条の会で学習会



お話いただいた桑田智子さん

私はあきらめない!
命のたたかいとそれを支えたもの
 ～桑田智子さん(薬害肝炎訴訟大阪原告団)

おおさか国公九条の会は、昨年十一月十九日、「平和と人権を考えるつどい」を開催しました。薬害肝炎訴訟で国と製薬会社を相手取って奮闘された大阪原告団代表の桑田智子さんに、「私はあきらめない 命のたたかいとそれを支えたもの」と題して、お話いただきました。出産時の止血のために投与された血液製剤が、肝炎ウイルスに汚染されていたために、不幸にして肝炎ウイルスキャリアアとなつてしまった桑田さん。肝炎を発症して死の恐怖と絶望で目の前が真っ暗

国の責任投げ捨て、住民福祉の切り捨て路線

分権改革推進委報告

地方分権改革推進委は、昨年末の十二月八日、第二次勧告を行いました。その内容は「地方への権限移譲などで業務を縮小し、出先機関の職員を三万五千人程度削減すべき。現行の九機関は統合などで廃止し、うち国土交通省地方整備局など六機関を「地方振興局(仮称)」、直轄公共事業の実施部門を「地方工務局(仮称)」にそれぞれ統合する。三年程度の間、準備期間を設けて実行に移すよう求める。今後、来年三月頃、地方税財政について分権委が第三次勧告」と報じられています。

この「地方分権改革」は、地域住民の声から出発したものではありません。財界が求める「道州制」導入の前提づくりとして準備されているものです。

「道州制」の狙いは、国の仕事を外交や軍事、司法、全国規模の開発事業などに限定する一方、憲法に基づいて本来国が責任を負うべき、国民の福祉と暮らしを守る仕事を地方自治体に押し付けることにあります。

「地方分権」に名を借りた国の責任投げ捨て・住民福祉の切り捨て路線はやめるべきです。

望年会、大学習会、昼食・学習会や「安心年金をつくろう会」など企画

- 【農林】一月十七日(水) 望年会を行う
- 【建設】二月二日(木) フロント会議を行った。地方分権委の二次勧告の關係で大きな組織改編問題がある。大学習会を連続して行う計画をしている。
- 【運輸】一月十七日(土) 昼食会と「食」の学習会を企画している。
- 【社保】「安心年金を

一兆円規模の給付金は究極のばらまき政治



単位職場だより

麻生首相が発表した追加経済対策の目玉「一兆円規模の給付金」。先日のある新聞に、「究極のバラマキ政治」という投書がありました。給付の対象は所得制限なしで、高額所得者を含む全世帯だ」として、「不公平政治であり、まともな政治とはいえない。食料品の消費税を非課税にするとか、不安定雇用は正や医療・年金制度・食の安全対策などもっとやるべきことがあるやろ。」と怒っていました。

ラジオのバラエティ番組で司会者が、「これは選挙目当ての対策ではないか。これは経済対策と言えない。」

国民には福祉予算の削減・負担増の一方で、五年間で二五兆円余にも及ぶ高額兵器導入の中期防衛力整備計画や、年間二千億円もの米軍基地への「思いやり予算」など無駄をなくす政治に言いたい事です。

(「農民フォーラム」T・Sから抜粋)

るものではない、お金を渡して投票を依頼すると選挙違反なのに、「...」というふうなコメントをしています。

ほんとうに同感です。消えた年金や汚染米問題などその責任をすべて公務員ハツシングで片づけ、地方分権、民営化推進で公務組織の再編・縮小への世論誘導とも言えるようなマスコミの扱い、それは違うやろと腹立たしさが募るこの頃です。

会員継続と会費のお願い

会員の方 会員継続と会費払込みについて、よろしくお願い致します。年会費は1200円ですが、会計年度は总会毎となっています。今年度は2009年度です。

未加入の方 会の趣旨にぜひご理解いただき会への加入をお願いします。